

# マイハザードマップ

このマップは、あらかじめ危険な場所や浸水箇所を把握し、自宅から避難所までの安全な経路をみずから記入することで、避難行動時に役立つものです。



**大雨洪水 災害避難カードの記入をしましょう**  
 同じ地域でも、家庭ごとに洪水被害は異なるため、人によって避難の必要性は異なります。  
 洪水ハザードマップを見て災害避難カードを記入することで、あなたのお宅での最大被害を確認し、避難の必要性と「もう避難しない」といまい！タイミングについて考えましょう。

大雨洪水 災害避難カード		作成日	年月日
住所	自宅の階数 ( ) 階建	作成者	Ver. 15.1
避難所の名称と住所	名称 ( ) 所要時間 ( 車・徒歩 ) ( 分 )		
自宅周辺地形から見た浸水危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
避難経路から見た洪水の危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
(避難経路上で水たまりになりやすい箇所)			
堤防が決壊した場合に想定される最大浸水深	5m 以上 ・ 3~5m ・ 0.5~3m ・ 0.5m未満		
洪水時家屋浸水危険地域*	内 ・ 外		

**■お近くの河川と見るべき水位観測所** → 川 ( ) 水位観測所

**■近くの堤防の決壊が懸念されるときに、避難行動の目安となる水位とあなたの行動**

水位	避難に関する情報	あなたの行動 (いつ・何をするか?)
最大浸水深	避難に関する情報	あなたの行動 (いつ・何をするか?)
堤防高	レベル5	【記入例】自宅の2階へ避難する ・避難所へ移動する準備を始める
浸水危険水位	レベル4	
避難指示水位	レベル3	
避難開始水位	レベル2	
浸水注意水位	レベル1	
警戒水位		
平常水位		

**■大雨の時に見るべき雨量観測所について**  
 ○家の近くの雨量観測所 →  
 ※家の周辺だけでなく上流部の雨量にも注意してください。  
 ○気象庁の「大雨注意報」は時間雨量 20~30mm が基準となっており、浸水や土砂災害の恐れがあります。

**■大雨の時に見るべき気象情報について (雨量レーダー)**  
 ○河川の上流部や小川では水位上昇速度が非常に速いことがあるので、雨量のリアルタイムの状況を、テレビボタン、Web (気象庁、国土交通省、愛知県など)、スマートフォンのアプリなどで確認しましょう。

**■避難行動の留意点**  
 □堤防近くにお住まいの方は、堤防が決壊した場合に家屋が倒壊する可能性もありますので早めの避難が必要です。口開きで浸水が始まっている場合や逃げ遅れた場合は、無理に避難せず2階等の安全な場所へ移動してください。(メモ)



**凡例**

- 予想される浸水の深さ
  - 5m以上 (3階浸水)
  - 3m~5m (2階浸水)
  - 0.5m~3m (1階浸水)
  - 0.5m未満 (1階以下浸水)
- 河川停滯範囲
- 家屋倒壊等危険想定区域 (洪水浸水)
- 家屋倒壊等危険想定区域 (河原浸水)
- 指定避難所兼指定緊急避難場所
- 消防団詰所
- 防災倉庫
- 樋門
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ライブカメラ
- 市町村界
- 字界
- 河川・ため池

1 : 5,000